

みんなで語り、伝えよう！ 妙法寺川物語

妙法寺川散策マップ

巡って学ぼう！

須磨海岸・源平などの史跡と文化

私たちの街にひそむ歴史を物語る
 様々な「あかし」を散策しながら、
 街の成り立ちや昔の人びとの生活に
 ついて関心を深めてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「妙法寺川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



須磨海岸には、貴重な海浜植物の自生が見られるよ！

須磨海岸には、阪神地域では数少ない珍しい海浜植物が自生しています。海浜植物は、須磨ベルトコンベヤのあった跡地で、保護柵によって守られています。

注) とっていいのは写真だけ、採取しないで観察しましょう！



マップの見方

【見学ポイント】

- 「不思議」に触れる見学ポイント
- 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
- 「安全」を考える見学ポイント
- 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント

【移動手段】

- 徒歩 (分: 矢印間の移動時間の目安)

【その他】

- 駅
- ≡ 鉄道
- ⊗ 学校
- トイレ

散策ポイント

- ★ **スタート** JR須磨海浜公園駅
- 1 須磨海浜水族園 約0.6km 約15分
- 2 須磨海岸・須磨海浜公園 約0.2km 約5分
- 3 網敷天満宮 約1.0km 約25分
- 4 村上帝社 約0.5km 約15分
- 5 現光寺 約0.2km 約5分
- 6 須磨離宮公園 約1.0km 約25分
- 7 須磨寺公園 約0.6km 約15分
- 8 須磨寺 約0.2km 約5分
- 9 源平史跡 戦の濱碑 約1.9km 約35分
- 10 みどりの塔 約0.1km 約5分
- 11 芭蕉句碑・蕪村句碑 約1.1km 約25分
- 12 敦盛塚 約0.2km 約5分
- ★ **ゴール** 山陽電鉄須磨浦公園駅 約0.1km 約5分

【問い合わせ先】

国土交通省 六甲砂防事務所
 住所: 〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 電話: 078-851-0535
 ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

巡って学ぼう！須磨海岸・源平などの史跡と文化 (ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

須磨海浜水族園

52P

須磨海浜水族園は、約500種2万点の川や海の生き物を観察することができる水族館です。水量1200tの波の大水槽のなかで、外洋性のサメやエイ、イワシの群れがより自然のままに観察できます。



須磨には、たくさんの魅力的な公園や施設があるんだよ！

村上帝社

49P

村上帝社は、平安時代中期の村上天皇が祀られています。伝説によると、琵琶の名人であった藤原師長が、都を出て須磨まで来たとき、村上天皇が神霊となって現れ、琵琶の奥義を授けたといわれています。



須磨には、由緒ある神社やお寺があるのを知っているかな？

須磨寺公園・須磨寺

41,49,53,68P

明治の終わりに山陽電鉄によって、鉄道の開通とともに須磨寺遊園地が作られました。現在、遊園地はなくなりましたが、須磨寺公園は、源平ゆかりの寺として知られる須磨寺をはじめ、歴史めぐりの拠点、また、身近な遊び場、憩いの場として親しまれています。



須磨寺は、源平ゆかりの寺と呼ばれているよ！

芭蕉句碑・蕪村句碑

43,53P

須磨では、松尾芭蕉や正岡子規をはじめ、多くの俳人が俳句を詠んでいます。須磨浦公園にも芭蕉や蕪村などの俳句の碑が建てられています。

須磨浦公園の句碑

俳人	俳句
まつおばしよ 松尾芭蕉	かたつむりのふ 蛸牛角振り分けよ 須磨明石
よさ 与謝蕪村	はる うみひねす 春の海 終日のたりのたりかな
たがはまきよし 高浜虚子	つき おも ひと おも 月を思い 人を思ひて 須磨にあり
まさあかしき 正岡子規	ことづてよ 須磨の浦に 晝寝すと

須磨では、いろんな俳人が俳句を詠んでいるよ！

須磨海岸・須磨海浜公園

2,22,52P

白い砂と青い松林の続く須磨海岸ですが、古代は山が海に迫り、小さな川筋がクシのように入り出した険しい荒磯でした。この海岸には須磨海浜公園があり、海水浴シーズンはもちろん1年を通してにぎわいのある公園です。

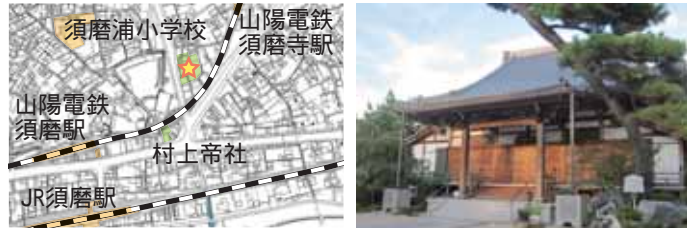


古代、須磨海岸は荒磯だったんだよ！

現光寺

12,43P

現光寺は源氏物語の主人公光源氏が、家来数人と京より須磨に移住した時、ひっそりと住んでいた所と古来より語り継がれてきました。この寺には松尾芭蕉や正岡子規などの俳人が訪れ、名句を残しています。



昔、須磨は貴族が隠れ住む土地だったんだよ！

戦の濱碑・敦盛塚

40,53P

平安時代の末期、須磨は源平の戦いの舞台となりました。一の谷の戦いで討たれた若武者平敦盛を供養するために塔が建てられ、敦盛塚と呼ばれるようになりました。



須磨は源平の戦いの舞台となったんだよ！

綱敷天満宮

44,68P

菅原道真は、平安時代の貴族で歌人ですが、全国で天神様（天満宮）では、学問の神様として道真公を祀っています。須磨にも、綱敷天満宮、板宿八幡神社、匂いの梅と飛び松、菅の井など、道真公にまつわる神社やいい伝えがたくさん残されています。



須磨には、菅原道真にまつわるいろんな神社やいい伝えがあるよ！

須磨離宮公園

52P

明治天皇の離宮であった武庫離宮が戦火により大部分が焼失し、その後、昭和42年（1967年）皇太子殿下（今上天皇）の御成婚を記念して公園の造成が行われ、須磨離宮公園として市民に開放されました。公園内の噴水広場は、ヴェルサイユの庭園を連想させる欧風の庭園で、四季折々にいろいろな花が楽しめます。



みどりの塔

19,68P

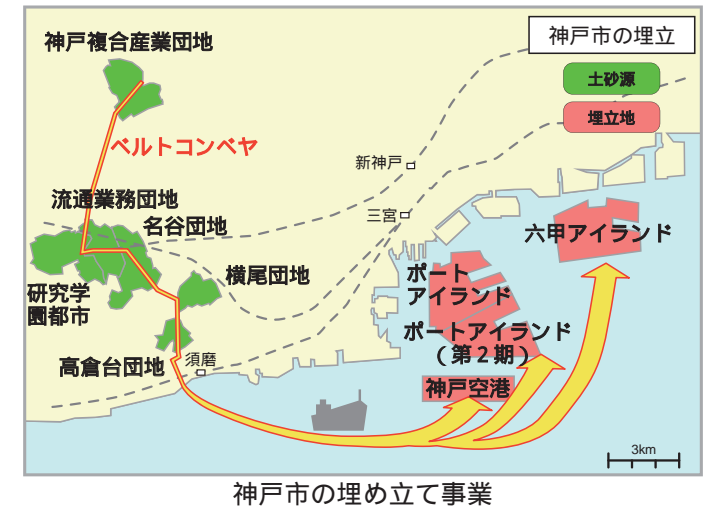
須磨浦公園にある「みどりの塔」は、昭和29年（1954年）に開催された国土緑化大会記念植樹祭の時、天皇・皇后両陛下が訪問された記念に改造されたものです。阪神・淡路大震災の時に、石柱上にあった地球儀が落ち、今もそのままになっています。



みどりの塔の地球儀は、地震で落ちてきたんだよ！

神戸の埋立地に 土砂を運んだベルトコンベヤ

平成17年（2005年）までの約40年間、JR須磨駅を出てすぐの国道2号の西方に、道路をまたいで須磨北部の土取り場から神戸の埋立地に土砂を運ぶためのベルトコンベヤが建てられ、動いていました。このベルトコンベヤは『山、海へ行く』を合い言葉に、高度経済成長期の開発を支える大きな役割を果たしました。



須磨地域を横断するベルトコンベヤ
船積さん橋と行き来する土運船